

韓国高年層の残存日本語談話資料

金 昂 京

1. はじめに

アジア・太平洋地域を中心に、かつて日本が統治を行った地域のなかには、現在も日本語を用いる高年層の人々が存在する。日本語といっても彼らの用いる日本語はほとんどの場合が第二言語であり、また、戦後約70年が経過していることもあり、日本語母語話者の用いる日本語とはことなる特徴が多くみられる。彼らの用いるいわゆる残存日本語の研究は、近年になってようやく盛んになってきている。たとえば2011年から「海外の日本語シリーズ（明治書院）」という著書が3冊出版されている。こういった研究によって、特に台湾・マリアナ諸島・サハリンの残存日本語の特徴が明らかにされつつある。その結果、残存日本語は個人間のバリエーションが大きく、また、各現地語の影響も大きくみられることがわかっている。ただし、おおまかにいえば、各地域にみられる残存日本語には、共通して体系の単純化が起きているといえる。

このように、残存日本語の実態が少しずつ明らかになってきているものの、これまでの残存日本語研究には、まださまざまな問題がみられるのも事実である。たとえば、再利用可能な形で研究データが残されていないことが指摘できる。そこで本稿は、韓国高年層の用いる日本語を資料として残すことを目的として、筆者の収集した談話を文字化したテキストを示す。以下、2節で韓国高年層の残存日本語を残すことの意義についてのべ、3節で調査概要とテキストを示す。4節は本稿のまとめである。

2. 残存日本語研究におけるテキストの持つ

重要性

収集したデータを研究者（自分自身）だけで私蔵してしまうのではなく、後世の研究者、あるいは当該言語コミュニティなどが再利用可能な形でデータを保存してい

くというのが、現在の記述言語学、特に危機言語研究における世界的なスタンダードとなっている。残存日本語も話者数が激減しているという点からいえば消滅の危機にあるといえるものの、これまでの研究では、この作業が徹底されているとはいいがたい。具体的には、高品質で収録した音声データをテキスト化し、コーパスを作成するという作業が求められる。この音声、そして言語学的な処理をほどこしたコーパスの完成により、韓国の残存日本語が完全に話し手を失ってしまったとしても、後世の研究者、あるいは当該言語コミュニティなどが再び研究を行うことが可能となる。

3. 調査概要とテキスト

ここで、本稿で示す資料について説明を行う。談話調査は2014年8月に、筆者および話者（以下「A」とする）の会話相手となる日本語母語話者の30歳代の男性（以下「JS」）の2人で行った。話者は1929年生まれの男性で、調査時85歳であった。生育地は韓国の扶餘で、調査もここでいった。調査は韓国語も理解することができる日本語母語話者が、あらかじめ用意した質問をもとに日本語でインタビューするという方式で、話者にはできる限り日本語で答えるようお願いした（ただし、以下に示すように韓国語も混じる）。今回文字化を行ったのは約30分のものであるが、初回の調査だったということもあってか、発話量としては決して多いとは言えない。以下、そのテキストを示す。聞き取れない箇所は拍数分を「#」で示し、個人情報が特定される可能性のある箇所は「○」で示す。

JS：えーとそしたらじゃあ、おじいさん、今、おいくつでしたっけ？年齢。

A：86歳です。

JS：86歳ですか。

A：そうです。

JS:生まれた年は, な, 何年ですか?
A: 부여군,
JS:부여군ですか?
A: 구룡면,
JS:구룡,
A: 구룡면,
JS:はい。
A: ○○○,
JS:はい。
A: ○○○번지,
JS:はい。
A:そこで生まれます。
JS:生まれました?
A:そうです。
JS:な, 何年ですか?せんきゅうひゃく, 何年ですか?
A:せん, 1929年。
JS:1929年。
A:9年。9月26日。
JS:9月,
A:26日。
JS:26日ですね。
A:そうです。
JS:で今はちじゅう,
A:6歳。
JS:6歳で, いらっしゃいますね。
A:そうですそうです。
JS:すごく, あの, 前もお会いしたときもそうでしたけど, すごく, お元気そうですけど。
A:そうですよ。
JS:何か, 健康の, あの, 秘密ありますか?な, 何をしたらそんなに, 健康で, いられますか?
A:健康, あー, 早く 일어나, 저, 起きます。
JS:早く起きますか。
A:어。
JS:な, 何時ぐらいに起きますか?
A:다섯, お, 다섯시。
JS:다섯시ですか。
A:そう。
JS:あー。朝ごはんも食べますか?毎日。朝ご飯は。
A:ご飯食べるし,
JS:はい。
A:昼, 食べるし,
JS:はい。
A:よ, よ, よ, 夜,
JS:夜。
A:う, うん, 食べるし,
JS:で,
A:뭐든 많이 먹어서, 熱心にやるです。そうです。

JS:熱心に。
A:そして, 元気です。
JS:あー。何か運動もしますか?
A:えー, 특별히, 그런건 없고, 저 앞드려 뺀척 이거, 이, に, にじっかいします。
JS:え, どういう運動ですか?
A:これ, これこれ。
JS:あー。トレーニングですか?
A:そうです。そうです。トレーニング。
JS:それは毎日ですか?
A:そして,
JS:はい。
A:その, #####, ひゃック회,
JS:うーん。
A:ひゃック, ひゃック회, 100回,
JS:100回ですか?
A:そうです。
JS:あ, それは, それも毎日ですか?
A:毎日です。
JS:あー。ははは。それで, あれですよ, あの, 畑, あの農作業も,
A:そ, そうです。
JS:よくしますよね。
A:そうです。그리고, 毎日, 라디오で,
JS:はい。
A:聞き, ます。
JS:あー, 라디오聞きますか。
A:예。
JS:はい。
A:聞きます。それが, その, #####,
JS:はい。
A:#####,
JS:あー。
A:###。
JS:よ, 夜は何時ぐらいに寝ますか?
A:우, 10, 열시, 10。
JS:10時ですか?
A:예, 10時。
JS:で朝は,
A:5時。
JS:5時に起きて,
A:起きて, 夜は, 10。
JS:夜は, 10時ですね。
A:#####。寝るです。
JS:毎日同じ,
A:同じー。
JS:それが, 健康の,
A:そうです。
JS:秘密ですか?

A: ええそうです。
 JS: 食べ物, どういう食べ物を食べますか?
 A: 食べ物は, 農村の생산되는 마늘,
 JS: はい。
 A: 뭐 고추,
 JS: はい。
 A: 채소,
 JS: あー。
 A: その, その, 食べ, 食べます。
 JS: 肉とかはあんまり食べませんか?
 A: えーもうそれ, ほしがる, しないです。
 JS: あーそうですか。
 A: そう。
 JS: あー。魚は, 食べますか?
 A: さかの?
 JS: 물고기です。
 A: あ, 食べません。
 JS: 食べませんか?
 A: 예 あー。じゃあ,
 JS: たばこ,
 A: はい。
 JS: 酒も, 飲みません。
 A: たばこもお酒も。
 JS: 예, 飲みません。
 A: あー。全然ですか?
 JS: そうです。
 A: あー。それがやっぱり健康の,
 JS: そう。
 A: 秘密ですね。それと, 毎日の運動が。
 JS: そうです。そです。
 A: うーん。で毎日5時に起きて, 夜10時に起きて,
 何か, あのー, 흥삼ですか? あの, 人參と, 朝鮮人參, とか飲んだり,
 JS: そんなもの, 食べないですよ。
 A: あーそうですか。
 JS: 예. えー, わたくしはー, 서울へ来て,
 A: はい。夜ー, 勉強したです。夜。
 JS: あーそうですか。
 A: 夜。3年の, 6月。
 JS: あー。
 A: 勉強して, 공주 사범학교 강습과,
 JS: ー。
 A: あー, します。
 JS: はい。
 A: 勉強したです。
 JS: ー。
 A: それで, 장학사,
 JS: はい。
 A: 장학관,

JS: はい。
 A: 교감 교장, みんなやりました。
 JS: ー。
 A: そして, ー熱心に,
 JS: はい。
 A: 努力して,
 JS: はい。
 A: 성, 成功したです。
 JS: あーそうですね。あのー, おじいさんのー,
 A: うん。
 JS: お父さまとお母さまも,
 A: うん。
 JS: 부여の,
 A: そうです。
 JS: 人ですか?
 A: 예, そうです。
 JS: あー。じゃあずーっと, 先祖だい, その, ご先祖さまも,
 A: そうです。
 JS: 부여の人ですね。
 A: 예。
 JS: あーそうですか。兄弟は, 兄弟はな, 何人いますか?
 A: 영?
 JS: えっとー,
 A: 兄弟?
 JS: 형とか누나, とか,
 A: あー。6人です。
 JS: 6人ですか。
 A: 예, 예。
 JS: 全部,
 A: 자매, 자매は6人。
 JS: 全部で6人ですか?
 A: 예。
 JS: あー。
 A: おどご, が
 JS: はい。
 A: 3名。
 JS: 男が3名。
 A: 娘が3名。娘3名。
 JS: あー。おじいさんは, 何番目ですか? その6人の,
 中の。
 A: 僕は, 男の2番目です。
 JS: あ, 男の2番目ですね。
 A: そうです。1番は,
 JS: はい。
 A: し, 死にます。死んだです。
 JS: あーそうですか。
 A: そうです。그, わだぐしの, 下は,

JS: はい。
A: 서기관. 충청남도,
JS: あー。
A: 도청。
JS: ははは。
A: 서기관。
JS: あー。
A:そして, #####しました。
JS: あーそうですか。はー。あの今, 日本語でこう
お話する, あの, ことは, 最近, ありますか?
あの, 私と, 話すときー, じゃなくて, あのほ
かのとこ, ほかの人と, 日本人と, 話すことあ
りますか? 最近は。
A: 뭐, 만나면 될 수 있지。
JS: あー。でも, い, いますか? 부여に, 日本人は。
A: 日本人, その관광, して,
JS: あー。
A: 来たら, そのとき。
JS: 会うことがありますか?
A: 예。
JS: あー。
A: わたくしも, につぼん,
JS: はい。
A: 大阪,
JS: 大阪。
A: 東京,
JS: はい。
A: だ古屋,
JS: はい。
A: けい都, 福岡,
JS: あ福岡も。
A: みんな, ンー, 관코쿠, 관광したですよ。
JS: あそうですか。
A: えー。
JS: 何回ぐらい行きましたか? もう。
A: えー, につぼんはにっ回,
JS: あ, 2回行って,
A: 2回。네。
JS: あー。
A: 台壇にか, 1回。
JS: はい。
A: ㄷ, アメリカ。
JS: アメリカもですか?
A: そうです。
JS: へー。
A: ㄷ, 중국。
JS: ちゅ, 中国ですか
A: 어. 台壇。
JS: 台湾ですか?

A: 台湾。
JS: あー。今まで行ったところどこが一番, 楽し
かったですか?
A: につぼんは,
JS: はい。
A: いい, そ, うれしい,
JS: はい。
A: し, 親切にして,
JS: あーそうですか。
A: #####, #####, 行ってて, 아이고,
#####, その, 택시의,
JS: はい。
A: 기사も,
JS: はい。
A: 점잖고, 그, 着物も, きれいにして,
JS: あー。
A: し, 親切にもう인사。
JS: そうですね。
A: そうです。
JS: あーよかったですね。日本の食べ物はどうでし
たか?
A: 食べ物は, あの, 高いです。
JS: あー高いですか。
A: ええ。
JS: あー。
A: 한국韓国は, 飲み物たくさんですんで,
JS: はい。
A: につぼんは, 呑, 食べ物が,
JS: 高いですか?
A: た, 예, 그 말고。
JS: あー。でも, 食べてみてどうですか? あの, 日
本の食べ物は, 味はどうでしたか?
A: 少しだけ, くださいしても,
JS: はい。
A: うれしく 뭐,
JS: はい。
A: 食べました。
JS: あーそうですか。
A: たくさん来たら,
JS: はい。
A: 味が無いのに,
JS: あー。
A: 少し 주니까, 뭐 味が 좋대, 맛있드만。
JS: あー。アメリカの食べ物は どうでしたか?
A: 食べ物は, 저, 지금, 빵,
JS: 빵,パンですか? 그
A: 빵に, 지금, 뭐라그를까, 그, 뭐, 지금 개인적
으로 먹는게 아니고,
JS: はい。

A: 여럿이 저 땡기며 먹는 거.
 JS: 最近は日本に、行ったことはありませんよね?
 A: 行かないです。
 JS: 最後に、最後に日本に行ったのはいつですか?
 最後は。
 A: 行きません。
 JS: も、もう行きま、行きませんね。あーわかりました。あの、今、こう日本語、すごくお上手ですけど、あの、ど、どうやって日本語を勉強しましたか?
 A: 저, につぼんに、韓国を,
 JS: はい。
 A: ㄱ, 韓国に来たして,
 JS: はい。
 A: その一, 小学校,
 JS: はい。
 A: 小学校したり、勉強したです。よ, 4 学年。
 JS: あ, 小学校に入ったときは,
 A: ええ。
 JS: 授業は、日本語でしたか?
 A: ええ, そうです。
 JS: あー。
 A: 日本語で,
 JS: はい。
 A: 日本語一, 勉強したですよ。
 JS: 日本語勉強しました? 日本人の先生がいましたか?
 A: ありました。
 JS: あいましたか。
 A: そうです。
 JS: はい。
 A: 女の先生。
 JS: あ女の先生ですか。その先生の名前とか覚えてますか?
 A: あーフク, フクジマ,
 JS: フクジマ。
 A: うん。フクジマヨシコ, 先生です。
 JS: お, 女の先生ですか?
 A: 예
 JS: 何歳ぐらいの人, ですか?
 A: 30 歳, ぐらい。
 JS: あ, 若い人ですか?
 A: 예, そうです。
 JS: あー。
 A: その, 校長先生も,
 JS: はい。
 A: につぼん人。
 JS: あ, 校長先生も日本人。
 A: そうです。

JS: 校長先生は男の人ですか? 男ですか?
 A: 男ですよ。
 JS: あー。校長先生も男ですか。ほかに日本人の先生はいましたか?
 A: うーん, その, # # # # #, # #, 교육허는, 저, 훈련허는, 선생, 교사, 先生とありました。
 JS: あーそうですか。あー。そのフクジマヨシコ, 先生は、日本の、どこから来たか、知ってますか?
 A: あー, そこはわかりません。
 JS: わかりませんか。あー。
 A: その一, 先生は, 당시 감이라고, 요렇게 머리して,
 JS: はい。
 A: 女の, 着物着て,
 JS: あ, 着物着てましたか? あー。その先生は, 韓国語, も話しますか?
 A: あーそうです。
 JS: あそうですか。じゃその先生は日本語, を, 教える先生ですか?
 A: うん。そして, 音楽も,
 JS: あ音楽も。あー。音楽は, 日本の歌を歌うんですか? あー。何か覚えてる歌ありますか? もう忘れちゃったか?
 A: えー, ちらは, 저, 점심, 점심 먹을 때
 JS: はい。
 A: (歌) これをその, あの, して, ありがとう, ございまーす, そして, # # # # # # # #。
 JS: お昼, お昼, の, 食事をするときに,
 A: そうです。
 JS: 歌うんですか?
 A: そうです。
 JS: た, 食べる前に?
 A: 예, 食べる前。
 JS: えー。ま, 毎日ですか?
 A: 毎日。
 JS: 学校で。
 A: ありがとうございますして,
 JS: はい。それで食べるんですか? へー。じゃあ小学校では, あの, 給食, ですか? あの, 小学校で, ご飯を,
 A: あーそうです。
 JS: ご飯が出てくるんですか?
 A: その, 弁当。
 JS: あ弁当ですか。
 A: 예。
 JS: 家からも,
 A: も, # # # # #,
 JS: あー。
 A: 家で,
 JS: はい。

A: 持って行って,
JS: はい。
A: 昼, の, ご飯を食べました。
JS: あー。
A: その一, わたくしたち, かっこう, 대동아, 전장,
JS: うん。
A: 대, 대東亞, 戦争, そのときです。
JS: んー。子どものときに, その小学校のときに,
あそ, 遊んだ, 遊びを, 覚えてますか? どうい
う遊びをしたか覚えてますか?
A: そのときは, この, #####,
JS: はい。
A: その一, #####して,
JS: はい。
A: こう, #####,
JS: はい。
A: #####, ###, #####,
JS: あー。そ, その遊びな, 何て言うか, 名前はわ
かりますか?
A: わかりません。
JS: あーそうですか。
A: そして, 또 모치기라고 해서,
JS: え?
A: 모치기. 이걸 밤으로 이렇게 해가지고서 막 이렇
게 꽃아가지고 자빠뜨려서,
JS: はーはーはーはー。そういう遊びですか。女の子,
女の,
A: 女の子,
JS: 小学生はどういう遊びをしてたか覚えてます
か?
A: 女の子は, あー, この, 玉の, 玉,
JS: はい。
A: #####,
JS: はい。あー。じゃあ, 男の子と女の子は,
A: そう。
JS: 違う遊びを,
A: そうそうそう。
JS: しましたか?
A: 違います。
JS: あー。子どものとき, に, あのー, いい友だち
がいましたか? 仲がいい友だちはいましたか?
よく遊ぶ友だち。
A: ##, ありました##, みんな死んだですよ。
JS: あそうですか。あー。あの, 今は一, 食べ物が,
たくさんあると思うんですけど, 子どものとき
はどうでしたか? 食べ物は。
A: 食べ物ーが, 少ないです。
JS: 少なかったですか? あー。どういうものを食べ
ましたか?

A: そのとき?
JS: はい。こ, 子どものときはどういうものを,
A: 보리쌀이라고 해서, 보리。
JS: 보리ですか? あー。し, 白い米はなかったです
か?
A: な, ない。
JS: あー。보리, 麦, だけですか? あー。あの学校の,
A: うん。
JS: 授業は, 算数とか, あの, 日本語のほ, 音楽の
授業も, 日本語でしましたか?
A: 국어, 국어산수,
JS: はい。
A: 자연, 사회,
JS: 社会. 地理。
A: 地理, 国語はにっぽんごです。국어는 일본 일본
책 아녀. 吉野山かすみの奥は知らねども, 막 이
렇게。
JS: よく覚えてらっしゃいますね。
A: わたくしはー, 6 学年してね, 勉強, よくして,
JS: はい。
A: 資格, し, 사범할 때, 資格,
JS: はい。
A: #####, #####。
JS: 小学校に入ったのはなん, 何年ですか? 센키ゅ
うひゃく何年ですか?
A: 어 여덟살 먹었으니까, 이친 친구백이십구년이
니까, 삼じゅう, しち年。
JS: 37 年。しょうが, 小学校を, 卒業して, 次は,
学校は, 何ですか?
A: 次は,
JS: 次の学校は。
A: 공주 사범학교。
JS: 네?
A: その一,
JS: はい。
A: 서울へ行きました,
JS: あ,
A: 영창중학교。
JS: ちゅ, 中学校ですか?
A: ええ, 夜,
JS: あー。
A: 夜, 夜して,
JS: 小学校を卒業して,
A: そう。
JS: 서울に, 行って,
A: 行って,
JS: 夜勉強したんですか?
A: 夜勉強。
JS: あー。

A: 3年の, 6月,
 JS: 3年,
 A: 6月。
 JS: ですか?
 A: ええ。6月して, 공주 사범학교 강습과, そうして,
 합격して, そこで,
 JS: はい。
 A: 勉強して,
 JS: あー。
 A: その先生, になりました。
 JS: あー。中学校に入ったのは, 何年ですか? せん
 きゅうひゃく何年ですか?
 A: せんきゅうひゃく一, 해방 후니까, 45년 48년
 인가. 1948年。
 JS: はい。48年ですか?
 A: 예。
 JS: じゃあ中学校に, えーと入ったのは, もう戦争
 が終わった後ですね?
 A: ええそうです。
 JS: あー。夜, 勉強, して, 昼は何をしましたか?
 A: 昼は, 저, 공장이라고, 그, 칫솔作る, 그런곳에서。
 JS: 工場ですか? 歯, 歯ブラシですか?
 A: そうです。
 JS: あー。あー。じゃ昼は, 仕事をして,
 A: そして夜,
 JS: 夜, 何時からですか? 学校は。
 A: 9時一,
 JS: 9時から?
 A: 예, 9時##, 10時, 6, 7, 8, 9,
 JS: はい。
 A: 10時, 終わります。
 JS: あー。毎日ですか?
 A: そうです。
 JS: へー。中学校は, 3年間ですか?
 A: 3年。
 JS: あー3年間。えーとすいません, もう一度お聞
 きしますけど, 中学校の後に, 入った学校は,
 A: 서울 영창 중학교。
 JS: ちょっと, か, 書いてください。すいません。あ,
 ここでいいです。どこでもいいです。あ, これ
 が中学校ですね。
 A: そうです。
 JS: 中学校卒業した後は, な,
 A: 조선,
 JS: はい。
 A: 전기 공업 고등학교。
 JS: あー。
 A: 전기과。
 JS: 電気ですね? あー。

A: そして, 공주, 학교 강습과。
 JS: あー。わかりました。ありがとうございます。
 あの一, 日本語, は, 書けますか? 書くことが
 できますか? あいうえおかきくけこ, 書けま
 すか?
 A: それは,
 JS: 忘れました?
 A: #####。
 JS: あーそですか。

4. まとめ

以上, 本稿では韓国高年層の使用する残存日本語研究
 におけるテキストの持つ意義についてのべ, これまで
 に行った調査で得られたテキストを資料として示した。
 本稿で示した資料はわずかであったが, 今後ともできる
 限り多くの談話の収集を行っていきたい。また, 録音
 した音声資料についても何らかの形で公開できるよう
 準備を進めていきたいと考えている。